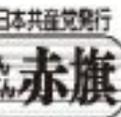


# 宇都宮民報

発行  
日本共産党  
宇都宮市委員会  
弥生1丁目7-11  
旭コーポ1階  
634-8722



日本共産党発行  
日刊 3497円  
定価 823円

## 高齢者・年金生活者のくらし守るため、 共に手を携えて

### 年金者組合 宇都宮市へ要請・懇談



市当局に要請し・懇談する年金者組合宇都宮支部の皆さんと同席する  
荒川つねお・福田くみ子両市議（右の2人）

全日本年金者組合栃木県本部（松山正執行委員長）は、11月20日、2015年度自治体要請・懇談活動の一環として宇都宮市との懇談・要請を行いました。7名の県本部・宇都宮市支部の役員らが出席。日本共産党宇都宮市議員団の荒川つねお・福田くみ子両市議も同席しました。市当局からは保険年金課・高齢福祉課から課長補佐をはじめ担当者が出席しました。

この日の要請行動では、公的年金制度の改善 誰でも安心して利用できる医療制度の実現、介護保険事業の改善と生活支援事業等の促進などに関する要請書に基づいて、市担当者より説明がありました。

年金者組合の出席者からは、「年金削減が経済に及ぼす影響は大きい」「物価スライド特例分を名目とした年金2・5%削減取り消しやマクロ経済スライド方式での年金削減は実施しないように国に働きかけてほしい」「国保の運営主体を市町村から都道府県に移行はとて心配」「介護保険料はもつと多段階にして応能負担の徹底を図ってほしい」など、1時間半に及ぶ熱心な要請・懇談となりました。

政の推進のもとで、年金・医療・介護・生活保護等の社会保障制度の改善を許さず、地方自治体を通じて、政府に対して制度改善を要求し、さらに、自治体行政への理解を深め、自治体職員の皆さんとともに社会保障などの行政手続きを改善し、血の通った地方自治体行政の実現をめざしています。

## 小学生と市議会議員の交流会に

### 福田くみ子議員が参加

市議会と下野新聞が主催する「小学生との意見交換会 市議会議員に聞いてみよう」が1月23日に開かれ、熊本議長、小林副議長を含め、市議7名が参加し、日本共産党からは福田くみ子議員が参加しました。小学生は5・6年生ら10数人とその保護者の皆さんも一緒に参加。約2時間弱にわたり交流しました。

### 新聞を読もう！

前半の約30分で、下野新聞の記者が「新聞の読み方」について解説し、実際に新聞を広げながら、それぞれ「気になる記事」を選び数名のグループで発表しました。

### 議会って何をするの？

選挙権の年齢が18歳以上へと引き下げられるのを前に、議会の役割や議員の仕事について、子どもたちの理解を深め、身近に感じてもらう「主権者」となる教育を進める上で大変有意義な取り組みとなりました。

福田議員は、「空母きょう攻撃態勢」の記事と、市庁舎16階レストランの学校給食の提供が終了」の記事を選びました。また、福田議員は、「みんなのお父さんやお母さんから“税金”をいただき、そのお金で学校を作ったり、道路や地区センターなど、市民のみんなが使う施設を作ったりしま



小学生と懇談する正面中央が福田くみ子議員・右隣が熊本議長・馬上議員



# 「といず」あかちゃん死亡事件 2度と繰り返さないために



質問する福田くみ子議員（12月3日）

12月3日、福田くみ子議員が一般質問に立ちました。その一部をご紹介します。（要旨）

これで本当に安心か？  
市の指導・監督強化？

認可外保育施設「といず」で9か月の赤ちゃんが亡くなつてすでに1年4か月が過ぎました。事業者が逮捕・起訴され、驚くべきその実態が少しずつ明らかになってきました。市はその指導監督責任が問われ、損害賠償を求められています。

議会で、日本共産党はこの問題を正面から取り上げ、2度と繰り返さないための対策を求めてきました。しかし市は、裁判になっていくことを理由に、この事件についての詳細を明らかにせず、「児童福祉法や指導監督について国の指針に基づいて行っており、瑕疵はない」「消防・建築指導課との合同の立ち入りや夜間の立ち入り

を行う」と強調しています。

市の責任認めるべき

福田議員は今回の質問で、「これでは、事件の教訓を生かした対策はできない」と再度取り上げました。

質問では、

**第1に**「告発された内容について、その後の市の立ち入りでは、事実確認がされたとは言えない。市の責任を認めるべきではないか」

第三者評価については、公立保育所が交替で行っているもの、民間園等では、未実施となっております。

**第2には**、抜き打ちでの調査をやるべきとの立場から、「積極的に（）やらない理由」を質しました。

**第3には**、保育の質の向上を目指したアクションプログラムにも提起されている「第三者評価を義務付けること」について見解を求めました。

これらの質問に対し、川中子こども部長は、これまでの立場に終始しました。福田議員は、「指針に沿って適切に対応していた結果としても、今回は重大な事態となつた。指針以上の対策が必要ではないのか」と追及しました。

川中子こども部長は、「国において、この指針の見直しが行われているので、国の動向を見守りたい」とも述べています。

福田議員は「しかし今日も多くのこどもたちが、保育所に預けら

れています。国待ちではなく市が主体的に1日も早く、信頼できる対策を打つべきではないのか」と迫りました。

さらに福田議員は、「さいたま市では、年に1度の立ち入り調査のほかに、抜き打ちでの立ち入り調査をすることを明言し、大きな効果を上げている。また、第三者評価は、アクションプログラムにも位置付けられており、質の向上に資するためには義務づけることができないか」と質しました。

福田くみ子議員のコメント

言葉で訴えることのできない幼い子どもを密室状態で、しかも水準の低い労働環境と未熟な保育力量のもとでこうした虐待も生まれまます。これこそが保育の質の延長線上で起きる問題ではないでしょうか。



「一億総活躍社会」の掛け声で現場は？

安倍首相の掲げる「1億総活躍社会」の実現に向けて、政府は「働き方改革」を推進し、企業に働き手確保を促す。しかし、企業側は「人手不足」を理由に、労働環境を悪くし、賃金を下げようとする。この矛盾を打破するためには、労働者の権利を守り、企業に働き手確保を促す必要がある。福田議員は、この問題を指摘し、政府に働き手確保を促すことを求めた。

## 備えあれば憂いなし お正月前に陽南地区防災訓練



11月29日 荒川議員も出席。チェンソーの使い方を学ぶ皆さん

希望者に譲ります  
スチール本棚 7段 1セット  
【連絡先】 09054276954 (田部)

### 日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

## 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅  
道路・交通安全・その他なんでも・・・

日時 12月12日(土)  
会場 宇都宮市コミュニティセンター 第2創作室

日時 2月13日(土) いずれの日も  
午後2時～4時  
会場 宇都宮市コミュニティセンター

1月の相談会は休ませていただきます。お急ぎの方は下記までご連絡ください。

連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)  
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)  
相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。  
秘密厳守します。弁護士が協力します。